

深川市



新しい特産品開発を産学官連携で検討

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

ふかがわ地域資源活用会議

【深川市】

産学官の連携で地場農産物を商品化、PR

はじめは？

平成19年に前身の「ふかがわ元気会議」が設立され、部会の1つ「地域経済活性化部会」が独立して、平成22年に「ふかがわ地域資源活用会議」が設立されました。

市内事業者、農業者、各種団体など業種を超えて広く市民の参画を得て、地域資源を活用した事業の企画及び運営を行い、地域経済の活性化と地域活力の向上に寄与することを目的に活動を行っています。

おもな活動

①黒米の普及・活用事業として、黒米品種「きたのむらさき」誕生の地、深川から、事業者と生産者が連携して数々の黒米商品を展開して黒米の認知度向上に取り組んでいます。

②ふかがわシードル・ふかがわポーク販売拡大事業として、ラインアップが充実し好評を得ている「ふかがわシードル」、「りんごジュース」、飼料の一部に深川産米シードルの絞りかすを使用した「ふかがわポーク」の更なる販路拡大を目指しています。

③地域資源を活用した商品開発と販路拡大を3本の柱と位置付け、地域に秘められた農産資源を活かした特産品の開発やPRを実施しています。



りんごジュース

ここが自慢

【くろが舞うのよ。北の黒米】

会議のメンバーは農業者、デザイナー、学校職員（教職員含む）、農業協同組合等、事務局を深川市が担い、深川市内の様々な業種で構成されています。各業界と密に産学官連携を図れることから、特産品企画



北の黒米

・開発だけでなく、販路確保までも素早く行動に移せることが大きなメリットであり自慢です。

特産品開発やPRには様々な立場の人が関わり、全員参加で地場農産物を利用することで地域経済の活性化に繋がっています。

連絡先

代表者名：溝口 めぐみさん／設立：2010年／会員：7名

住所：深川市2条17番17号（深川市地域振興課内）

電話番号：0164-26-2276

FAX：0164-22-8134

E-mail：chiikis@city.fukagawa.lg.jp

URL：